

☆師走（しわす）

「師走」の語源について調べてみました。『この月になると、家々で師（僧）を迎えて読経などの仏事を行うため、師が東西に忙しく走り回るため、「師馳（しは）せ月」といったのを誤ったものだ』という説があるようです。『学校の先生も走り回るほど忙しい』と思っていたのですが、まったく違いました。いずれにせよ、今年のやり残したことを来年に持ち越さないように納める必要があり、色々なことを急いで取り組む月でもあります。

どんな年でしたか？目標は達成できましたか？ヤマ校の一年間を振り返ってみましょう。まず部活動です。東京都代表になった部活動が陸上、男子ハンドボール、女子テニス、吹奏楽。他にも、ベスト32以上の成績をあげた部活動が多数ありました。どの団体も、ヤマ高のプライドをかけての活躍でしたね。今後も期待したいと思います。今年は「安全教育推進校」の指定を受けました。指定校の生徒としての自覚はどうでしょう。ポスター、ロゴ、カーブミラー、安全教室と、様々なイベントがありました。肝心のみなさん一人ひとりの「安全意識」「交通安全マナー」はどうですか？身についたでしょうか？しっかりと再認識して新年を迎えましょう。



☆挫折

挫折を経験したことがありますか？私は、かつてサッカーの選手だった時期がありました。あまり上手ではなかったのですが、大きな大会に出場したこともあります。現役選手としての活動中、大きな怪我をしました。膝の前十字靭帯と内側側副靭帯を同時に断裂。そして入院・手術。復帰をめざしていたので、スポーツ整形外科の病院へ入りました。周囲の患者は、各種目のスポーツ選手。中には日本代表選手もいました。励ましあいながらリハビリに励みました。しかし、復帰はかなわず、引退となりました。挫折です。「なぜ自分がこんな目にあうのか？」と苦しみました。

皆さんはいかがですか？怪我をして苦しんでいる人はいませんか？挫折は怪我だけではありません。希望がかなわない時、人間関係の不調、レギュラー、成績、試験……。思い通りにいかない時、挫折します。挫折する要因を恨み、すさんでしまう人もいます。

人は、様々な努力をし、経験を積み、それぞれの目標・未来に向かって進みます。時には方向が見えず、苦しむこともあります。思いもよらぬことで、道を断たれることもあります。逆に、思いがけず、救いの手が伸べられることもあります。すべての経験が、自らを成長させる糧となります。無駄な努力、無駄な経験はありません。また、挫折を知っている人は強いです。人の心の痛みを理解し、包み、励ますことができます。挫折は苦しいですが、次につながるステップであり、人間として成長するチャンスでもあります。投げ出さず、自分を信じて克服しましょう。



☆受験は団体戦

年が明けると、すぐにセンター試験・一般受験です。本番を迎える3年生も、進路が決まっている3年生も、思いを同じにしましょう。「受験は団体戦」です。がんばれ受験生！